



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ〜清流文化の創造〜

2024年10月14日(月・祝)〜11月24日(日)

「清流の国ぎふ」文化祭2024は、障害のある人もない人も共に参加して、全国規模で発表・共演・交流する文化の祭典です。今秋、「ともに・つなぐ・みらいへ〜清流文化の創造〜」をキャッチフレーズに、県、市町村及び文化団体等が多彩なイベントを開催します。

正式名称

第39回国民文化祭
第24回全国障害者芸術・文化祭

統一名称

「清流の国ぎふ」文化祭2024

キャッチフレーズ
ともに・つなぐ・みらいへ

〜清流文化の創造〜

会期
10月14日(月・祝)〜
11月24日(日)

期間中は全市町村で様々なイベントが開催され、誰もが文化芸術に親しむことができます。



公式サイト



▶ロゴマーク

職人の業と清流の恵みを受けて作られる美濃和紙の波打つような一巻と、川の流れを重ねてデザインしています。



▶ポスター

岐阜の美しい「清流」と「人」を描いた作品です。「清流の国ぎふ」文化祭2024が開幕するまで、ひとつ、またひとつと新たな作品が展開し、物語としてつなげていきます。

国民文化祭とは

観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典であり、伝統芸能や文学、音楽、美術などの各種芸術、食文化などの生活文化等の活動を全国規模で発表・共演、交流する場を提供するとともに、文化により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、一層の芸術文化の振興に寄与するものです。

全国障害者芸術・文化祭とは

障がい者の芸術文化活動への参加を通じて、障がい者の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するため、全国持ち回りで開催しているものです。平成29年度の第17回大会から、国民文化祭と一体的に開催しています。

郡上市の主催事業

①風流踊フェスタ

〜次世代への継承〜

地域文化である風流踊を広く発信し、あわせて次世代への継承に資するため、ジュニア世代に焦点を当てた風流踊のイベントを開催します。

10月20日(日)

郡上市総合文化センター

郡上市内・県外の風流踊の披露

・次世代への継承活動の紹介

・郡上特別支援学校の和太鼓演奏

教育委員会社会教育課

67・1128



▲風流踊の披露(イメージ)

② 清流の国ぎふ「短歌の祭典」古今伝授の里・郡上

郡上東氏ゆかりの文芸である短歌のさらなる普及と、和歌文学に対する理解を深めてもらうことを目的に、全国の短歌愛好家から作品を募る短歌大会や和歌文学をテーマにした講座を開催します。

場 日 11月2日(土)～3日(日)
郡上市総合文化センター
古今伝授の里フィールド
ミュージアム一帯

内 ● 短歌大会

- 東氏ゆかりの和歌文学と香りの講座、「古今伝授の再現」、東氏の史跡散策等
- 郡上文学散策バスツアー

短歌作品を募集中

内 ● 自由な感性による短歌

- 一人二首まで
- 選者は佐佐木幸綱氏ほか
- 応募用紙または応募フォームから応募。応募用紙の郵送を希望する人は、お問い合わせください。

費

1,000円。障害者手帳等を持っている人は無料。

期

6月30日(日)
当日消印有効

他 ● 賞の発表 11月2日(土)

● 受賞者には事前に内定通

問 知を送付します。
古今伝授の里
フィールドミュージアム
88・3244



▲短歌大会(イメージ)

③ 市民芸術文化展

文化協会や各種サークルなどの団体活動、学校での教育活動や課外活動、そして個人の創作活動などで作られた様々な作品を紹介し、自己表現や芸術文化を通じた交流の機会を提供するため、分野を問わない展覧会を開催します。

日

11月9日(土)～10日(日)

場

やまと総合センター

内 ● 市民による創作作品の展示

● 物販・喫茶コーナー
教育委員会社会教育課
67・1128

県民運動 「清流文化地域推し活動(ちーオシ)」

「清流の国ぎふ」文化祭2024に向けた機運を盛り上げるため、県民運動「清流文化地域推し活動(ちーオシ)」が進められています。

「ちーオシ」とは、地域の宝物「推し」を県内42市町村それぞれで発掘し、それを題材に竹と和紙を素材とした灯笼型のオブジェ(ちーオシスタチュー)を制作するというものです。

42市町村の「ちーオシスタチュー」は、「清流の国ぎふ」文化祭2024の開会式で披露されます。

市町村コミュニケーション

「ちーオシ」では、42市町村でけん引役として選ばれた「コミュニケーションター」が中心となつて、「推し」の発掘や「ちーオシスタチュー」の制作を実施していきます。郡上のコミュニケーションターには、八幡町でデザイン業をされている石原(いしはら)かづ枝(かづえ)さんに就任していただきました。



▲石原さん

「郡上かるた」を 郡上の「推し」に選出

昨年11月に、市民のみならずが考える郡上の「推し」を募集したところ、1,521人から2,506件の応募をいただきました。

寄せられた「推し」には郡上のおどりや鮎(あや)など、郡上かるたの題材になっているものが多数見られました。また、「推し」に選んだ理由として「郡上かるたの札になっているから」というコメントもあったことから、地域の宝物に親しむきっかけとして郡上かるたに注目しました。

併せて、市内7地域の宝物を包括的に取り上げること、郡上の「推し」の多様性を表現できればと考え、郡上かるたを選出しました。



▲郡上かるた

ちーオシスタチューの制作

42市町村の「ちーオシスタチュー」は、大会総合プロデューサーである日比野克彦(ひきの)さんがデザインし、それを基にサポーター(岐阜のこよみのよぶね実行委員会)が作成した設計図に従って制作します。「ちーオシスタチュー」の制作は、市民参加のワークショップ形式で実施します。



▲郡上市ちーオシ



▲郡上市サイト

各イベント等の詳細は改めてお知らせします。

問 教育委員会社会教育課

67・1128